

(様式4)

事業所名 想愛木越グループホーム

目標達成計画

作成日: 令和 元年 7月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	現状、交流の機会と時間を重ねることで日常的な交流の継続は概ね出来ている。機域の行事に行事に当方が参加させていただくことのウエートが大きく、事業所の行事参加を広める事が不足している。	事業所が主催するイベント発信し、参加していただくことで、地域との日常的な交流の活性化、と事業所が今以上に、「地域の一員」として存在できる。	夏祭りの開催を公民館、こども園、子ども会、回覧板ぽすたーなど出周知し、開催日程も多くの方が参加しやすい日を選定する。小学校へ「お仕事体験」などの受け入れを行う。	12ヶ月
2	33	「看取り」は頻発するケアではなく、現状、年2回の「看取り委員会」による研修が重ねられている。介護職員、計画作成担当者や看護師、DRなどの他職種連携また、本人や家族との関わりについても連携ではなく他職員への依存が強い。ケアについて「日常的」「非日常的」と断続的な意識がある。	日常的なケアの行く先には「看取り」が継続的に繋がっていることを意識したい。	看取り委員会での研修内容の再検討と、担当者会議やカンファレンスにて本人、家族の「思い」や「願い」に注視することで「ケアの継続性」へ職員の意識転換を図りたい。各職員への終活の薦めもしてみたい。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。